



# ルネサス本社に宣伝と要請行動実施

6月24日(水) 8時15分〜9時30分、電機・情報ユニオン、東京電機懇、ルネサス懇、日本共産党小平市議団、地元支援者の合計12人で、ルネサスの第13期株主総会が開催される武蔵事業所前で「分割会社設立に関する問題」「リストラ策のひどい実態」「産業革新機構の投資はどうなった」「劣悪な労働実態の改善を求める」などの内容を中心とした職場新聞「むさしNet154号」を過去最高の598枚手渡しする事ができました。株主の入る東門では、米田

徳治委員長が携帯ハンズで訴えました。(写真左)



## 労働の対価はどうなったのか

会社がファミリーサポート手当(家族手当)を、労働の対価では無い事を理由に廃止を決めています。

確かに直接の労働の対価ではないとは言え、元はと言えば、配偶者が長時間労働の出来る条件を確保するために設けられた家族手当は、間接的には労働の対価、それも決して十分とは言えない対価だったのではないのでしょうか。それさえ無くしたことも問題ですが、では直接の労働の対価はどうなっているのでしょうか。

武蔵では、裁量労働者の平均残業時間が40時間前後に達しています。しかし、残業の対価は30時間分しか払われていません。残りの10時間分を会社はどうするつもりでしょうか。経営者にポリシーがあるのか無いのかは、こういうところに出るのだと思っています。(投稿)

## 高崎に転勤した労働者からの訴え

早期退職を選択するか、転勤するかの選択を迫られ転勤を選びました。しかしながら病気の家族を置いて、自分も病気をもち単身生活をさせられています。病院は長時間掛けて定期的に通っています。交通費は、もちろん自腹です。家族の為に帰る費用も出ません。給料カットやファミリー休暇も取り上げられ、福利厚生も無くされつつあります。高崎地区にはこういった転勤組が多く昼休みの食事も交代でしています。最後の組は食べる物が残っていません。会社は、社員に飲まず食わずで働けと言っている様です。嫌なら退職しろと言われている様です。私たち広域転勤組を一日も早く自分の家(今までの職場)に帰らせて欲しいです。会社都合による転勤なので、今まで掛かった費用を全額支払って欲しいです。二重生活で苦しい上に、自腹の部分が多く、また給料や手当のカットをされたら生活出来ません。(ルネサス関連労働者懇談会のWEBに寄せられた内容です)

## 休憩室

- ◆「新幹線内焼身自殺」異常な迷惑行為 巻き添えで悲惨状態
- ◆「なでしこ残念」期待が大きかった よく頑張ったと賞賛
- ◆「世界遺産登録」明治の産業革命遺産 日韓対立が再燃したが
- ◆「労災認定最多」職場環境の改善で心の病を生まぬ職場に

## 編集後記

ルネサスが設立されて初めて社員株主などと5名で株主総会に出席しました。株主総会には、日立の不当解雇や差別事件を取り組んでいた時期に一度出席して職場問題を質問をした経験がありました。今回のルネサスの株主総会では残念ながら議長役の作田CEOに指名される事なく終わりましたが、質問状に対する会社回答と同僚の質問と回答を聞いていた一般株主にも職場の実態を伝えたいと思いました。(T)



絵手紙でご挨拶